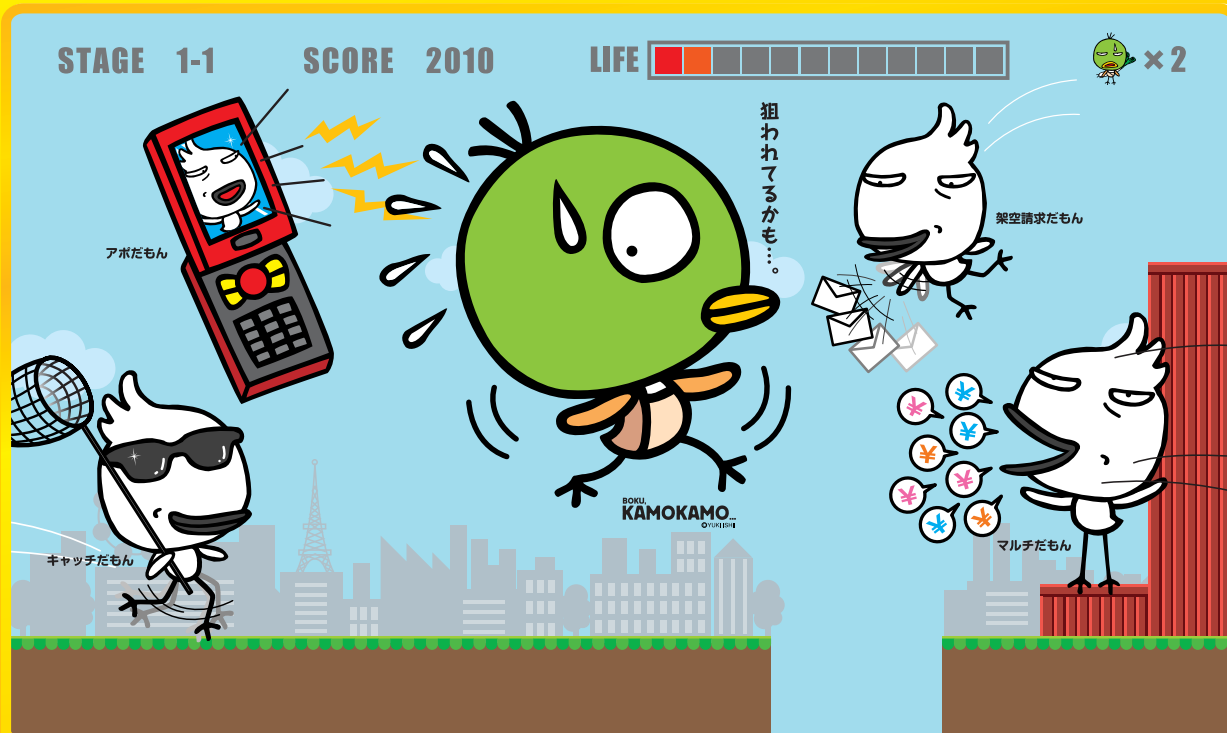


危険がいっぱい! 悪質商法



STOP! 架空請求!

身に覚えのない請求には応じないようにしましょう!

よくわからない請求内容のハガキや、メールの画面に突然現れた請求書等は架空請求の疑いがあります。まず落ち着いて家族や消費生活センター等に相談しましょう。

請求の例

- 「退会するためには料金の精算が必要…」
- 「会員登録が完了したので料金をお支払いください…」
- 「以前ご使用になった料金が未納に…」
- 「支払いがない場合は訪問または差し押さえをする…」
- 「債権譲渡を受けた…」
- 「裁判を取り下げるには大至急連絡を…」
- 「…身に覚えがない方も早急にご連絡ください。」

対策

- 身に覚えがなければ、毅然とした態度で無視する。
- 脅されたりするので、相手に連絡しない。
- ハガキやメールは証拠として保管する。
- 家族あてに来たときは、利用したことがあるか本人に確認する。代わりに支払わない。
- 裁判所が差出人になっている封書が届いた場合は、すぐに消費生活センター等に相談する。(封書に書いてある電話番号には電話しない)。
- メールをクリックしただけでは契約は成立しない。相手にメールで返信したりせずに無視する。

東京都消費生活総合センター

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ16階
(※日・祝日・年末年始はお休みです)

架空請求
110番

☎03-3235-1155

受付時間:月~土曜 9時~16時

☎03-3235-2400

受付時間:月~土曜 9時~17時

土曜日も
相談
できます